

SCHOOL LIFE 2月

CSとして→あいさつ運動

2月1日(木), 2年PTAによる本年度最後のあいさつ運動でした。雨が降る中, ご協力ありがとうございました。出水市をあいさつの町にしていきましょう。



CSとして→出水市こども会大会発表&ボランティア

1月27日(土)に、「出水市こども会大会」が開催され, 2年生が順천시派遣事業の体験発表を行い, 出水市ジュニアリーダークラブ「出水兵児」の一員である3人がボランティアで参加しました。レクレーションの説明を舞台でしたり, 小さな子ども達の面倒をみたりと, 頼もしい一面を見ることができました。



English Day

1月26日(金)は、「イングリッシュデイ」ということで, なんと3人の先生が来校してくださいました。ALTのバソウ先生とパティット先生, AEAの本内先生です。授業だけでなく給食や休み時間などもたくさんお話してください, 生きた英語を学ぶ素晴らしい体験でした。



生徒の感想

英語の時間にALTの先生が3人もきてくださいました。エルサ先生と10分くらい話しました。最初はあまり話せなかったけど, 少しずつ話せるようになりました。

英語でALTの先生と話しました。最初は話せるかどうか緊張していたけど, 話してみると先生の以外な一面を知ることができてよかったです。また話してみたいなと思ったし, 英語の文法の意味が分かったら楽しいなと思いました。



厳島神社 節分豆まき

赤鬼, 青鬼怖かったです。(生徒だけでなく, 私も)
五穀豊穡, 無病息災,
いい年でありますように。



CSとして→「めのもちdeチャチャ茶」ボランティア

2月4日（日）、新春のお祝いと大川内保育園の再開園を目指して、大川内コミュニティ協議会主催、さわやか出水女性の集い共催の「めのもちdeチャチャ茶」が行われました。コミュニティ・スクールとして生徒6人、職員2人がボランティアで参加しました。市内からたくさんの親子での参加者があり、伝統行事を通して新春をにぎやかに祝うことができました。そして、何よりも保育園の再開園、子供の成長に寄与できる地域づくりに向けて、大川内が一つになっていると感じました。



受付



めのもちづくり



絵本の読み聞かせ



絵本の読み聞かせ



茶道体験



本校運営協議会委員
矢野さんの琴の演奏

届きました。あったかい手紙！

1月6日に、本校生徒の投稿が南日本新聞「若い目」に掲載されましたが、2月5日に一般の読者の方から、その感想が届きました。紹介します。

南日本新聞の読者です。1月6日の「若い目」欄に掲載されていたあなたの投稿に大変感動し、生きる勇気ももらいました。投稿、本当にありがとう。

その感動と塩入君の素晴らしさを広く、県民の皆さんにも知っていただこうと思い、私も投稿（別紙）しましたが、残念ながら掲載されませんでした。

今後のあなたのさらなる成長、大川内中学校の同級生の皆さんの健やかな成長を楽しみにしています。

私事ですが、私は以前、県庁の人権同和対策課というところで仕事をしていました。そして、「鹿児島県人権教育・啓発基本計画」という計画を策定しました。

その計画の中に、「人権文化」というちょっと難しい言葉を入れました。人権が広く社会に染み渡り、文化の一部を形成するというものです。今後、あなたのような若い人が増えてみんなが人権のセンスを持つようになれば、「人権文化」の花が咲く日もそう遠いことではないと思います。

寒い日が続きますが、これからも勉強や運動に頑張ってください。

投稿を通して、新たな繋がりが生まれました。誰もがあったかくなる社会づくりを目指していきたいと思います。

CSとして→進路面接指導

2月2日、本校運営協議会の橋口委員長さんと田中副委員長さんに、3年生の面接指導をしていただきました。生徒の



実際の姿から、コミュニティ・スクールとしての取組の評価にもなったと思います。これからも学校運営協議会を核として、持続可能な社会形成に参画できる資質・能力の育成を目指していきます。



新入学説明会

2月2日、来年度入学予定の小学校6年生を対象に説明会を実施しました。出水市内の7つの小学校から、13人の6年生が出席しました。生徒会長、副会長が学校の様子を紹介し、交流授業では1、2年生がグループリーダーとして参加しました。一人でも多く大川内中学校の仲間が増えるといいです。



3年道徳授業参観

2月9日、3年生は授業参観で「道徳」の授業をしました。保護者の方々には、生徒への手紙を書いていただきありがとうございました。中学校生活最後の時期に、17名全員が揃って、この授業ができたことはとても意味あるものだったと思います。資料や動画、グループでの意見交換、そして保護者からの手紙を通して、「命」や「家族」について考えを深めたことと思います。

生徒の感想

資料や動画、手紙を読んで、どんな親であっても子どもを大切に思う気持ちはみんな同じなんだなと思いました。怒られたとしても、子どものことを大切に思ってくれているからこそであって、決して子どものことが嫌いだからというわけではないと改めて感じました。ついつい反抗してしまったり、傷つくような事を言ってしまうんですけど、自分の間違いを正してくれるのは親ぐらいしかいないので、きついことを言われても、素直に受け入れられるようにしたいと思いました。そして、手紙を読んで自分を愛してくれている、大切に思ってくれているということを知れたので、育ててもらっていること、生まれてこれたことに感謝して、これから生きていきたいと思いました。

今回の授業で、親や周りの人たちが支えてきてくれたおかげで今の自分がいることを実感し、感謝しようと思いました。親だけでなく、周りの人たちあってこそ自分の命な

ので、「自分の命は自分のものだから関係ない」と軽々しく扱わないようにしたいです。それは、自分の命だけでなく、他の人の命も、どんな命でも同じなんじゃないかと思いません。だから、自分だけでなく、自分の周りにいるたくさんの人たちを大切にしていきたいです。文、ビデオ、親からの手紙を読んで、親は子どものことを第1に考えてくれていることがよく伝わりました。今は反抗してしまうときもあるけれど、生んでくれたことに感謝しながら、これから生活していきたいです。

お母さんは赤ちゃんを出産するときに「不安」と「希望」を抱いていると思います。そのつらい時間を乗り越えて出産してくれたことに感謝しています。「命」は一つしかありません。お母さんからもらった恵の命、愛情、それがあり、命はつながってきているのだと思います。家族が支えてきてくれたこと、今、命があることに感謝して、「生きる」ということの大切さを感じました。

今日は授業参観でした。初めてこの道徳の授業をすると聞いたときは、正直、照れくさくて嫌だなと思っていました。でも、動画を見たり、手紙を読んだりして、頭で分かっていたようで本当は分かっていた命の重さを感じました。この授業は、いつか私の子どもにも受けてほしいと思いました。

今回の授業は自分が生まれてきたときのお母さんの気持ちが少しでも分かったように思いました。手紙には自分が生まれた日のこと、そのあとが大変だったことが書いてありました。手紙を受け取ることを知らずに受け取っていたらおそらく泣いたかもしれません。それでも手紙はとてもうれしかったです。



お知らせ

「平成30年2月20日(火),

出水警察署次長様から下記の賞の伝達を受けました。」

**祝 第7回命の大切さを学ぶ教室
全国作文コンクール** (応募総数4万点超)
警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長賞
重信 千優梨
鹿児島県警察本部相談広報課長賞
川畑 真美
ポエトリー・スクール 出水市立大川内中学校



(全国で、国家公安委員会委員長賞、警察庁長官賞、文部科学大臣賞に次ぐ賞)



次長様には、
命の大切さについて、講話もしていただきました。



命の大切さ学ぶ作文コン

警察庁主催の「命の大切さを学ぶ教室全国」で、県内の2人が警察庁犯



表彰される平沙也香さん、奄美高校入賞した重信千優梨さん



平さん(奄美高3年)重信さん(大川内中3年)入賞

罪被害者支援室長賞に選ばれた。

全国の警察が毎年、中、高校生を対象に犯罪被害者らによる講演会「命の大切さを学ぶ教室」を実施し、受講を通じて得た思いなどの作文を募集している。

奄美市の奄美高校情報処理科3年、平沙也香さんへの授賞式が22日、同校であり、奄美警察署の大川隆則署長から表彰状を贈られた。平さんは交通事故で両親を失った男

性の話を聴き、「自分を大切に思うことが人とのつながりや命を大切にすることにつながる」などつぶつた。

出水市の大川内中学校3年、重信千優梨さんも交通事故で両親を亡くした男性の話を聴き感想を作文にした。「ニュースで伝えられる人の死を身近に感じ、命の尊さをあらためて考える機会になった」と話した。

コンクールは今回7回目。全国で計3万1888点の応募があった。

(緒方隆、吉永亮治)

誰もが自分が必要とされ、そしてより良い未来のために日々頑張っていると
感じられる目的感を持てる社会、犯罪のない社会をみんなで創っていききたい。

CSとして→広島県三原市の中学生との交流

2月23日、修学旅行の農家民泊体験で、大川内に宿泊した三原市立第五中学校の生徒8人と本校2年生11人が、紙漉学習を通して交流しました。第五中学校の生徒の真剣な活動の様子がとても印象的でした。生徒数の少ない本校にとって、他校の生徒との交流は貴重な学習となります。これからも、相手の話をしっかりと聞き、自分の考えをいれながら答えるコミュニケーション能力を高めていきたいと思えます。素敵な出会いをありがとうございました。



CSとして→第2回拡大大学校運営協議会

2月26日、大川内小学校と合同の拡大大学校運営協議会を開催し、後期学校評価、来年度学校経営グランドデザイン、各プロジェクトチームの成果と課題について協議しました。平成29年度も延べ200人を超える地域の方々に指導していただきました。生徒の思考力・実践力が一步一步高まっていると感じます。平成30年度もよろしくお願いします。



薬物乱用防止教室

2月27日、出水警察署の方に薬物乱用について講話をしていただきました。薬物乱用とはどういったことをいうのか。薬の飲み過ぎ？1回くらいならいいの？いいえ違います。違法とされている「覚醒剤」や「大麻」などは1回でも使用してしまうと取り返しのつかないことになること。最近では「危険ドラッグ」と呼ばれる精神や身体に異常をきたす薬も出てきていること。そういった薬物の恐ろしさや、その他未成年の飲酒・喫煙の危険性についても、体験談を交えながら、大変分かりやすく教えてくださいました。

2年生の感想

皆が大好きな「アロ」や「アロ」とよばれる大麻もあってとても怖いなと思いました。人の体だけでなく精神も駄目にしてしまう薬物、恐ろしいです。

持っただけでも犯罪になってしまうなんて怖いなと思いました。数十年前ではあり得なかったものが、すぐ手に入りやすくなっているという現状に危機感を持たなくてはいけないなと思います。

薬物はいけないということはみんな知っているけど、甘い誘いにのってしまい断りき

れずに乱用してしまうので、しっかりと断る勇気を持って、回りに流されずに、しっかりと習ったことを思い出したいです。

